

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会
MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



田植え（川角小学校）

6月の定例会

| | |
|--|------|
| 条例の一部改正 | 2P |
| 規約の変更、町道の廃止・認定 請負契約の締結、臨時議会、議案の審議結果 | 3P |
| 常任委員会合同視察 | 4P |
| 一般質問 | 4～9P |
| 人事、全員協議会ほか | 10P |

平成22年7月20日発行

第 69 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

6月 議会定例会

公共施設

耐震化すすむ!

平成22年6月定例会は、1日から9日までの会期で開催されました。主な議題は、条例の改正4件、規約変更3件、町道の路線廃止及び認定各1件、追加議案として契約の締結2件、人事の諮問1件、報告3件の審議をしました。なお議案審議に先立ち行われた一般質問は10名が登壇し活発な質問が展開されました。

条例の一部改正

税条例の一部を改正する

条例

○一部、扶養控除の廃止により、扶養情報の申告が必要になりました。

○町のたばこ税が1・32円／1本、値上げして、小売り価格では10月1日から300円のものから410円〜440円程度になる予定です。

(全員賛成可決)

都市計画税条例の一部を改正する条例

○地方税法の改正に伴う条

項の整理

(全員賛成可決)

国民健康保険条例の一部を改正する条例

○国保の医療給付費分の限度額を47万円から50万円へ引き上げ、後期高齢者支援金分の限度額を12万円から13万円へと引き上げます。

○倒産・解雇など一定の理由により離職した場合は、給与所得の3割を給与所得とみなし、税額を算定する措置が講じられます。

(賛成多数可決)

職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

○町の職員は、配偶者の就業の有無や育児休業の取得の有無にかかわらず、育児休業を取得することができるようになります。

○出生の日から57日以内に最初の育児休業をした職員は、特別な事情がなくても再取得できるようになります。

(全員賛成可決)



耐震工事が始まる役場庁舎

規約等の改正

埼玉県市町村総合事務組合の規約変更

○久喜市・加須市の合併による規約の変更
(全員賛成可決)

彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少

○合併による構成団体の減少
(全員賛成可決)

少

埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少

○合併による構成団体の減少
(全員賛成可決)

町道の廃止・認定

4件・8路線

○滝ノ入字矢ノ入地内の道路改良路線内に存在している2路線の廃止。

○武州長瀬駅附近の路線の一部に建築物が掛っており、その部分の払下げと残った部分を認定外道路とする。

○歴史民族資料館附近の町道に接する土地が私有地の中にあり町道としての機能を失っているもの。

○武州長瀬駅北側の完成した野久保線及び駅前広場内に存在する町道の廃止・認定5路線。
(全員賛成可決)

耐震補強工事請負契約締結

◇庁舎(役場)

請負金額
1億5037万

6800円

工期

平成22年6月9日から平成24年3月23日まで

工事の概要

耐震補強筋交い(32箇所)
1階柱補強(4箇所)
補強に伴う設備工事
請負業者
狭山市狭山台
住協建設株式会社

(全員賛成可決)

川角中学校校舎

請負金額

6047万1600円

工期

平成22年6月9日から平成22年9月30日まで

工事の概要

筋交い(12箇所)
隙間補強(72箇所)
請負業者
東松山市大字葛袋
株式会社 森田建設

(全員賛成可決)

臨時議会(7月8日)

一般会計補正予算

予算総額

91億8388万円

歳入歳出それぞれ

2億6388万円を追加

○私立保育所等緊急整備事業により、私立保育所2園と認定こども園2園の設置に対する補助金の交付。
(全員賛成可決)

附帯決議(決議第一号)

○今後町立3園体制を考慮し、上町保育園について早急に建て替えることを前向きに検討すること。
(賛成多数可決)

(賛成多数可決)

議案の審議結果 6月定例会・7月臨時会

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

| 議案 | 宮寺征二 | 井上健次 | 藤岡健司 | 下田一甫 | 岡野勉 | 川上伸子 | 伊藤和由 | 菅野博子 | 小峰明雄 | 高橋達夫 | 栗田秀彦 | 長瀬衛 | 岡部和雄 | 堀江快治 | 審議結果 |
|---|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|----------|
| 21 専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町税条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 22 専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町都市計画税条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 23 専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例) | ○ | ○ | × | 討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 24 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 25 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 26 彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 27 埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 28 町道の路線の廃止について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 29 町道の路線の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 30 庁舎耐震補強工事請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 31 川角中学校校舎耐震補強工事請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 諮問1 人権擁護委員候補者の推薦について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 答申 適任 |

臨時会

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 32 毛呂山町一般会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 発議1 毛呂山町一般会計補正予算(第1号)に対する附帯決議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 岡野 勉議員** ①保育行政の充実
②鎌倉街道の保存と整備
③町内循環バスの充実
- 藤岡健司議員** ①平和
②負担増
- 川上伸子議員** ①脳卒中中の意識啓発ポスターの作成
②毛呂山町独自で作成したネット教材
③ケーブルテレビの今後の活用
- 岡部和雄議員** ①町の課題と現状
- 長瀬 衛議員** ①小沢町政の実績・評価並びに今後への考え方等
- 井上健次議員** ①後期基本計画
②子ども手当
- 高橋達夫議員** ①上町保育園の今後と私立認定こども園
②町内循環バスの運営状況と町所有車の管理と安全対策は
- 伊藤和由議員** ①町の教育課程において土曜日正規授業の動きをどの様に捉えているのか？
②安全で快適に住めるまちづくりの理念に沿う地域道路整備構想を聞く
- 小峰明雄議員** ①教育・子育て環境の充実
②職場環境
- 下田一甫議員** ①山林内道標
②成年後見制度

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

2 常任委員会 合同視察6月16～17日

総務文教・生活福祉常任委員会が合同視察を実施。本町の町政発展に役立つ多くの事例を見聞する事ができました。

【商店街再生の取り組みから】

長野県／みなま町下諏訪町御田町商店街

数年前は13店舗中9店舗が空き店舗。しかし町の呼びかけによる「匠の町しもすわあきないプロジェクト」の発足と、人のつながりを重視した取り組みにより、シャッター街が解消されました。



御田町商店街のNPO事務所にて

【伊那食品工業を視察】

長野県／伊那市

地域の雇用・文化・財政と多岐にわたり地域に貢献。今年の採用は20名に全国から1900名の応募。自然と調和、施設・設備はとても綺麗でした。

【飯田市内、認定こども園を視察】

長野県／私立慈光幼稚園内

市内に待機児童はなく、当認定こども園は2才児からと制限され定員は12名。開園の動機は幼稚園園児の減少からであり、新築の園舎はとても充実していました。



慈光幼稚園玄関（認定こども園）にて



保存が心配される鎌倉街道掘割遺構

鎌倉街道掘割遺構の 保存・独自調査を！

早ければ今年度実施する

岡野 勉 議員

問 鎌倉街道、市場及び西大久保掘割遺構の保存・整備計画は（今年1月遺構の山林が広範囲に渡り伐採され景観が一変、5月文化財保護審議会）どうなりましたか。

答 5月21日に開催された審議委員会ではこの掘割遺構は重要な交通遺構として「歴史の道百選」に選定されているものの、現状では「埋蔵文化財包蔵地」として扱われ、開発等により消滅の危険もあることから、まず、確認調査を実施し町指定史跡として保存すべきこと。そ

の後、囲い柵や説明板の設置といった環境整備を行いたいと考えています。

問 掘割遺構の調査はいつになりますか。また、調査の内容と費用はどの位になりますか。

答 調査時期は早ければ今年度の後期、遅くとも新年度上期。これまでの調査は断片的でした。今回は発掘区を広げ、「街道の道路面」をハッキリ検出し、町の史跡指定に向け対策を講じます。

問 上町保育園の耐震診断、若草保育園の耐震補強工事！

答 町立保育園である若草保育園の耐震診断結果と上町保育園

の耐震診断はいつ行われますか。

答 若草保育園（築36年）耐震診断の結果は1s値で0.23～1.03。（安全基準は0.6以上必要）また、上町保育園は、「子育て支援等検討委員会」の話し合いを受け検討します。

問 町の「子ども達のいのちの問題」、若草保育園の対策は早急に必要な。また、上町保育園の老朽化を考えると「耐震診断で状況把握は必要不可欠だ」、絶対に調査は行なうべきだ。

答 全町的な保育事情を勘案し、9月補正予算に間に合う様に「検討委員会」で検討を頂き、結論を出します。

非核兵器平和都市宣言の 実施について

『2010年核不拡散条約再検討会議』においては、その趣意に賛同し、署名と激励を行った

藤岡 健司 議員

問 非核兵器平和都市宣言の実施について、町長に伺います。

答 宣言こそ実施しておりませんが、核兵器廃絶に対する平和団体の運動や事業には、今まで積極的に支援してまいりました。「原水爆禁止平和大行進」の支援、また本年5月にアメリカ

カニューヨーク市で開催された『2010年核不拡散条約再検討会議』においては、その趣意に賛同し、署名と激励を行ったところです。平和な暮らしを維持し続けるためにも、「非核兵器平和都市宣言」の実施について検討していく。

負担増について

問 この10年で国民健康保険はどれだけ負担が増えたのか。介護保険もスタートからどれだけ負担が増えたのか。

答 総所得200万円の夫婦子ども2人の4人世帯を例として、平成12年度では、医療分・介護分、合計26万4500円、平成21年度では、医療分・支援金分・介護分合計33万9900円、合計で7万5400円の増額となっている。

問 私は、以前から失業中に前年の収入による課税は「特別な事情による」を適用して保険料

（税）を軽減出来ないかと質問をして来ました。

非自発的失業者というのが、この4月から始まった。この制度はどのような制度なのか。

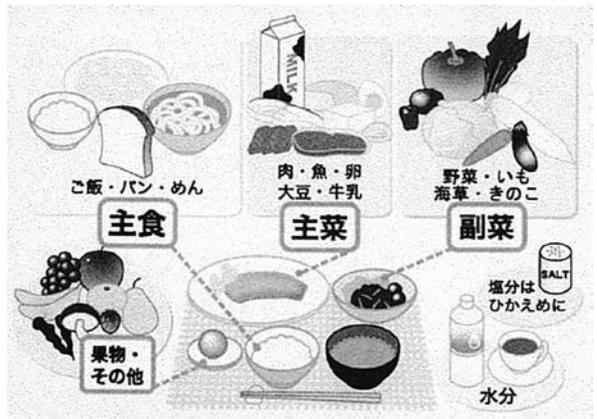
答 倒産・解雇など一定の理由により離職した場合、給与所得の3割相当額を給与所得とみなし税額を算定する措置が講じられた。

問 資格証の発行件数は。

答 資格証の対象者は、平成20年度133件、平成21年度は22件。



原水爆禁止平和大行進



バランスの良い食事を

町として「脳卒中の意識啓発ポスター作成」の考えは

罹患者の地域での発生状況や、その動向を踏まえ、検討

川上 伸子 議員

東京都は脳梗塞や脳出血、くも膜下出血など脳卒中の早期発見・早期治療と再発防止を都民に意識啓発するポスターとリーフレットを作成し、脳卒中患者のそばに居合わせた人が速やかに「11

9番通報」できるように病状を分かりやすく説明したものを表示。65歳以上の高齢者人口は都内で255万人を超え、脳卒中患者の増加が予想されるだけに正しい知識の普及に向け大きな役割を果たすことが期待される。

問 死亡総数は338人。その中で「脳卒中」死亡率は45人で割合は13・3%。埼玉県の「脳卒中」死亡率は11・3%で毛呂山町は県平均より若干高い状況。

答 死亡総数は338人。その中で「脳卒中」死亡率は45人で割合は13・3%。埼玉県の「脳卒中」死亡率は11・3%で毛呂山町は県平均より若干高い状況。

問 検診を受けたいが受けられない人、受けない人の対応は。

答 地域の支え合い、助け合い、声かけなど「地域福祉の観点」の機運醸成が重要。民生委員協議会や区長会の働き掛けを継続。また、身近な所で健診が受けられるよう地域に向き、健診を実施するなど今後土・日も健診が受けられる機会の拡充を図る。

問 新聞紙上に毛呂山町が開発を進めた「もろやま親子で学ぶ基礎学習」がネット公開したことが紹介され、教育関係者などの注目を集めている。小・中学生向けに制作、公開されたユニークな取り組みは全国に発信されると聞くが、現在の状況は。

答 一日の利用者は80名程度。アクセス数400カウント程度。

問 今後の取り組みは。

答 修正等メンテナンスを継続。英単語の題材を手がけたい。コンテンツを利用したい団体等へは適宜協力を行い、ICT活用の拡大や町のPRにも努める。

町民の「幸福度」を高めよ

安心・安全な「まち」をめざす

岡部 和雄 議員

問 子ども手当の現状は。

答 6月4日に3758名で、9769万5千円を支給。

問 高校授業料無償化の現状は。

答 4月1日より授業料のみ無料となる。入学金、教科書代や修学旅行費等は、対象外です。

問 農家への戸別所得補償制度。

答 米の生産数量目標に従って生産する販売農家に10アール当たり1万5千円を定額給付する。

問 5月末まで90件の申請を受理。

答 民主党政権の3つの政策は、はたして地域経済をよみがえらせることができるか町長に問う。

答 国の厳しい財政状況の中、

財源の見通しがないマニフェストの実効性への疑問、今年度の予算が税収を上回る新規国債で賄っていること、つまり将来へ「つけ」を回すことに不安を感じる。

問 団塊の世代のその後は

答 昭和22年から27年生まれの5年間で4千人居住する。「生涯学習ボランティア人材バンク」制度により町民の暮らしに役立つ一般教養をはじめ、専門的知識の技能、能力を発揮して頂き町内の地域の求めに応じた指導や支援協力をしていく。

問 ブータンでは、国民の幸福度をGNPからGNH（国民総

幸福）を指標としている。町民の皆様は今、幸福を感じていると思うか。

答 何をもち「しあわせ」を感じるかは、個々の価値観によるが行政としては、多くの住民がこの町に住み続けたいと思うような「まちづくり」をしていきたい。

要望 幸福度の高い人は、他人への思いやりがありボランティア活動にも熱心だ。個人の幸福度は社会にとっても有益であり住民に身近な自治体は、町民の幸福度に敏感になるべきだ。



「幸福度」日本一をめざして



今後の最優先課題は「川越坂戸毛呂山線」

最優先課題は都市計画道路、川越坂戸毛呂山線の早期整備！

関越道入西ICが出来るので、県に要望して早く

長瀬 衛 議員

問 今後の最優先課題はハード面で都市計画道路の川越坂戸毛呂山線の早期整備と川角駅周辺整備。ソフト面では高齢化対策や地域力強化策及び幼児教育重視の子育て支援策と少人数学級など教

育施策であると考え。川・坂・毛呂山線の坂戸区域が完成し、残るは本町区域のみだ。川角〜南台〜長瀬地区を結び新飯能寄居線に接続され、町負担も不要である。これまでの「川角交差点渋滞改善整備で川・坂・毛呂山線は必要ない」との見解は

に戦略もなく集中投資しているが、この11年間、川角駅周辺整備は二歩も進んでいない。総合振興計画に矛盾しており、「町づくりに」の段取りを間違えている。**答** 過去に区画整理の話が住民の反対で中止された。非常に難しい地区である。長瀬駅周辺をケリをつけたい。

不可解なアンケート調査

意見 野久保線事業の補助金変更に対するアンケート調査は酷い。回収率48%、内、賛成は僅か51%。そんな内容だから胸を張って22年度の目玉事業と言えないのか。

土地利用構想の見直しを調査をして明確にしていきたい

井上 健次 議員

問 町は第四次総合振興計画における後期5年間の基本計画を作成中と聞く。都市計画は道路等の交通機関による影響が大きく、仮称坂戸スマートインターチェンジや武州長瀬北口野久保線事業、企業誘致促進条例に係るアクセス道路の整備、不

況下での住宅開発など土地利用構想における変化あるいはゾーンを決めるゾーニングはどのようになっているか。**答** 仮称坂戸スマートインターチェンジの開通により、地域産業や企業誘致等の活性化が期待される。長瀬駅北口野久保線事業も

町道110号以南の工事が完成し着実に事業は進んでいる。企業誘致を進めている地区へのアクセス道路整備として、川角中学校脇の町道7号路線の整備を計画的に推進している。住宅開発の状況については、市街化調整区域における住居系土地利用として564ヘクタールを指定したところである。都市計画の上で土地利用構想における大きな変化を認識しており、これらの変化を踏まえ都市計画マスタープランの見直し作業を行っている。

問 町が企業誘致を計画している地区は、主要な道路へのアクセスも悪く慢性的な交通渋滞が問題となっている。仮称坂戸スマートインターチェンジが現実的なものとなる

た今、このインターチェンジに毛呂山町内でも5分程度でアクセスができ、更に遊休農地などの未利用地も多い。企業誘致や土地利用の利便性からも従来の計画を見直すべきである。**答** 土地利用の関係には法的な規制がある。よく調査をして取り入れられるものは積極的に進めていきたい。



交通の利便性の悪い商業地域（川角地内）



早期の建替えがのぞまれる上町保育園

上町保育園の建替え保留 による一番の犠牲者は

上町保育園に通っている園児、 及びその父母に迷惑をかけた

高橋 達夫 議員

問 上町保育園建て替え保留とはどう言うことか。

答 3月議会でも説明したが、町内2園の私立幼稚園より認定こども園の申請があり、待機児童がない、当町では町全体の保育を総合的に考慮する必

要がある。新保育園の建設には認定こども園を含んだ今後の町の保育需要を注意深く見定めて行く必要があるため保留とした。

問 保留とは棚上げにして置く意味だが、何時まで棚上げにして置くのか。

答 保留の期間は2年間位です。

問 認定こども園の定員は70名だが、もし70名の申込があった場合、上町保育園は廃園になる様なこともあるのか。その判断は誰がするのか。

答 上町保育園からすべて認定こども園へ行く訳でないので、そのような事はない。また、たまたま本年は認定こども園の他にも町内2私立保育園から国、県、町の補助金を利用し改修したいという申請があり、それらについて、新に立ち上げた子育て検討委員会の判断をお願いしたい。

問 認定こども園のメリットと

デメリットは
答 メリットは保育と教育の一体的に提供ができること。さらに保護者の施設利用の選択の幅が広がる。幼稚園の経営難の解消につながる。

デメリットとしては管轄が文科省と厚労省の二つなので事務が煩雑になってしまうこと。さらに保育と教育の両方を行うため園の力量が問われる。

問 今後認定こども園への町の関与は

答 保育料の設定、園児募集、運営費の支弁等の事務運用についてを意見交換等協議したい。

安全で安心な通行が 放置され続けているのか？

安全対策を図りつつ、 改善整備を検討しつつ

伊藤 和由 議員

問 町内各地域で僅かながらも整備が進められている現状で有るが、街づくり基本構想の理念である「安全で快適に住める街づくり」の提唱には程遠く、20年、40年以上も整備に向けた企画会議の湖上にも拳がらず放置され、改良整備されない箇所が数多く

見受けられる現状である。

西戸の岩井岩殿県道より川角小学校へ通じる路線は、公共下水道施設部分幅員10mの歩道付で一部整備されているが、その後の整備は20年余りも放置されている。川角小学校への通学路でも有る地域の幹線道路が今まで

整備されずに来た事由と、今後の整備計画を聞きたい。

答 公共下水道施設の稼働に当り部分整備された状態であり、下水道施設より川角小学校までの間は、いまだに整備されず、昔の道路状態である。町としては、生活幹線道路で通学路でも在るこの道路は改良整備が必要であり、重要な事項と考えているが、用地の確保や買収等に多くの問題が有りますので、今後とも交通安全対策を図りつつ、改善整備に向け検討して参ります。

問 町道6号路線の川角駅から城西大学への通学路となる道は、

大学設立以来40年余り整備されず、下川原地域住民は日常生活の通行に苦慮し続けている。この現状をどの様に捉えているか、又、川角駅前広場の狭隘を改善し、通学路の危険性解消に向け、東武鉄道・城西大学等と協議をした事があるのか。

答 通学時は歩行者や車両の通行が多く、安全確保に支障が有る。周辺道路の整備状況や安全対策に地域と協議検討していく。今後とも危険性削減に向けて東武鉄道・大学と協議していく。



整備が放置されつづける箇所



3次診断による校舎耐震補強工事を切望する

校舎耐震に資格保持者の 臨時職員の指導は

指導をいただき

遺漏のないよう対応

小峰 明雄 議員

問 連続59回目の一般質問。平成22年度毛呂山町教育行政重点施策は。

答 総合振興計画の理念を反映させ策定しており、重複部分の見直しも行う。
問 私は、今迄に指導主事の増員や一級建築士等

の資格保持者を職員採用等と提言致しましたが、平成22年度の教育委員会の職員体制、約2ヶ月が経過したが、ご所見は。
答 指導主事の専門性を生かした業務の取り組みを充実させたり、一級建築士の臨時職員が、建築に関する専門的な知識を他

の職員に指導しております。
問 なわとびにチャレンジは。
答 小学校のなわとび検定とは、種目や方法が異なる為に不参加。
問 歴史民族資料館の重要な役割の学博連携への取り組みは。
答 学校ごとの団体見学の受け入れや出前授業が主要。
問 企業の森林の活動で総合公園グラウンド脇の斜面に植林されましたが、既存林を含めた子供たちの為に、自然の生態系が観察できる空間や自然環境の中で体験できる施設整備や落葉樹等、平成9年第2回及び平成15年第2回の議会定例会でも一般

質問を致しましたが、ご見解は。
答 関係各課等と調整を図りながら進めてまいりたいと考える。
問 次世代を担う子供たちが、健やかに生まれ育つ環境をつくる為、そして毛呂山町役場職員が仕事と子育てを両立させることにより、全ての職員がその能力を十分に発揮できるように、職場を挙げて子育てを支援すること職場環境の整備を推進することを目的とした毛呂山町役場特定事業主行動計画の現状と課題は。
答 育児休業取得率が、女性職員は100%。男性職員の取得に課題がある。

山中のハイキング道に 道標の整備を

分り易い案内表示や 環境の整備につとめる

下田 一甫 議員

問 町は山の緑を誇り町内外からのハイカーも多いが山林内のハイキング道は道標が少なく行先に迷っているハイカーに良く出合う。町で表示した道標はその殆どが車の通れる道端にある程度。山林内には奇特有な方が表示したと見られるのが目に付

く程度。町などで表示したと見られる道標も幾つかあるが腐蝕が進み文字を読み取る事も困難かつ信頼に欠ける。増加傾向のハイカーの安全と観光行政推進のためにも早期に現地調査を、整備すべき。
答 道標は16年度から19年度に

山間部を中心に40基整備した。今後もハイキングコース等に設置してある道標については現地調査を行ない腐蝕・破損状況等を確認し、補修や立替の整備に努め、ハイカーに自然を十分に味わえるよう分り易い案内表示の設置と環境整備に努める。
成年後見制度の現状と周知
問 成年後見制度は判断能力が不十分な方を保護するための法律上の制度で町でも制度に基づき町長の申立てに関する要綱が平成16年に施行され、町に期待される役割を担うようになってい

る。近年首長が後見申請をするのが増えているようですが、当町の受入れ体制と現状、住民に対する制度の周知は。
答 町、福祉課所管での町長申立て件数は平成16・18・19・20年度にそれぞれ1件ずつ、平成21年度は3件で合計7件の申立てがあり、いずれも福祉サービスなどの契約に支障があるため入所施設などからの申立てに至ったもの。障害者・老人施設・医療機関等支援を行なっている側には周知が計られている。高齢者支援課も担当しているが申立ては無い。



腐蝕が進んだまま放置されている道標

人事

人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦についての諮問は、全員異議なく適任であるとの答申がされました。

古賀 征一 氏

(新任)

毛呂山町岩井東
昭和19年7月生



全員協議会

〔6月1日〕

(1) 泉野小学校校舎耐震補強工事

○耐震化を進めるため1年前倒し、21年度に耐震補強設計を行なった。耐震補強工事については、21年度に予算化、22年度に明許操越により工事を実施することにした。

(2) その他

○新飯能寄居線の工事状況
○町内循環バスの利用状況

〔6月25日〕

私立保育所等の施設設備事業にかかる助成

○都道府県が国から交付された交付金を財源に基金を設置し、市町村が補助率に応じた補助を行うことを前提に助成される交付金。

・保育所緊急整備事業
毛呂山みどり保育園
あけぼの幼稚園
認定こども園整備事業
ながせ幼稚園
(仮称)ながせ保育園
ときわぎ幼稚園
(仮称)ふるさと保育園

議会の動き

- 4月20日 第68号議会だより発行
- 5月14日 入間郡町村議会議長会役員会
(毛呂山町役場)
- 18日 入間郡町村議会議長会定期総会
(毛呂山町役場)
- 25日 議会運営委員会
- 6月1日
 - 〔 〕 第2回(6月)議会定例会
 - 9日
 - 1日 全員協議会
 - 8日 生活福祉常任委員会
 - 9日 議会運営委員会
 - 16日
 - 〔 〕 2常任委員会合同視察研修
(長野県下諏訪町、伊那市、飯田市)
 - 17日
 - 25日 全員協議会
 - 7月1日
 - 〔 〕 入間郡町村議会議長会宿泊研修
(新潟県長岡市)
 - 2日
 - 8日 議会運営委員会
 - 8日 第1回(7月)議会臨時会

次回定例会は9月です。

6月定例会傍聴者数

| 本会議日 | 傍聴者数(人) |
|---------|---------|
| 6月1日(火) | 0 |
| 2日(水) | 16 |
| 3日(木) | 30 |
| 4日(金) | 1 |
| 7日(月) | 0 |
| 9日(水) | 0 |

7月臨時会傍聴者数

| 本会議日 | 傍聴者数(人) |
|---------|---------|
| 7月8日(木) | 13 |

傍聴席

木城町へ義援金

宮崎県における家畜伝染病口蹄疫の発生は甚大な被害をもたらし、毛呂山町と友情都市の盟約をかわす木城町にもおよんでおります。毛呂山町議会では、議員互助会より木城町に対して5万円の義援金をお送りいたしました。

被害にあわれた畜産農家の方々に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興ができますようお祈り申し上げます



各地で夏祭りの季節となりました。

夏祭りの由来は、無病息災や五穀豊穡を祈願し、むかしの人々が地域で行っていた祭り事が伝承され、今に残っていると考えられます。

今年も、地域的に自然災害や異常気象が報道されています。遠いむかしの人々が暑い夏に行ってきた祭り事に思いをはせ、私たちも皆さんとともに、災害のない安心・安全なまちづくりを心から願っております。

藤岡 健司

編集委員

- 委員長 井上 健次
- 副委員長 宮寺 征二
- 委員 藤岡 健司
- 〃 下田 一甫
- 〃 岡野 勉
- 〃 川上 伸子
- アドバイザー
(議長) 栗田 秀彦